ペット動物の災害対策
準備ができていますか？

災害は、いつどんな状況で起こるか分かりません。いざという時、人間の避難を考えるだけでも厳しい状況が考えられます。

そこへ犬や猫などを連れて避難するとなれば、かなり困難な状況が予想されます。

（飼い主の役割）

飼い主は、避難が必要な災害が発生した場合には、できるだけ同行避難及びペットの適切な避難場所の確保をすることが必要となります。

そのためには、ペットが社会の一員としての適性をもつべきであることを認識し、事前に同行避難のために必要なしつけや健康管理を行うとともに、ペット用の避難用品や備蓄品の確保をしておくことが重要です。

また、住まいの防災対策や自分達の地域では、どこの場所に同行避難が可能なのか、事前に確認しておくことも大切です。

普段から心がけておくこと

◆ 身元確認ができるものを身につける

飼い主とはぐれ、保護された際に飼い主の元に戻れるよう所有者明示をしておきましょう。

- 首輪と迷子札
- 鑑札や狂犬病予防注射済票
- マイクロチップ

◆ 基本的なしつけ

避難所には動物を嫌いな人や飼っていない人も大勢います。他人の迷惑にならないように普段からしつけをしておきましょう。

- 「待て」「お座り」「伏せ」などのしつけを行う
- ケージ等の中に入ることを嫌がらないように慣らしておく
- 不必要に吠えないようしつけを行う
- 人や他の動物を怖がらないようしつけを行う

◆ 健康管理

避難所では、多数のペットが集まり、他の動物との接触が多くなるため、普段からペットの健康管理に注意し、ペットの健康、衛生状態等を確保しておきましょう。

- 狂犬病予防接種などの各種ワクチン接種を行う
- 寄生虫の予防・駆除を行う
- 不妊・去勢手術を行う

備えておくこと

◆ 1週間分のフードと水、食器

ペット用はどうしても手に入りにくいため、1週間分は必要。ドライフードや缶詰など長期保存できるものを用意しておきましょう。

◆ 療法食、薬

ペットの免疫力等が低下し、病気を発症しやすいです。

◆ ケージやキャリーバック

避難所で他人や他のペットに迷惑にならないため日頃からケージに慣らさせておきましょう。

◆ 飼い主とペットのツーショット写真、健康メモ

ペットや飼い主を捜すのに役立ちます。また、既往症、健康状態やかかりつけの動物病院などの情報は病気の治療等に役立ちます。

◆ 予備の首輪、リード、排泄処理用品、猫砂、ペットシーツ、バスタオル、ブラシ、ガムテープ　等

SACS
一般社団法人 Shizuoka Animal Care Society
静岡県動物保護協会
問い合わせ先 〒420-0838 静岡市葵区相生町14番26-3号
TEL 054(251)6036